

第1回 あわせます

1

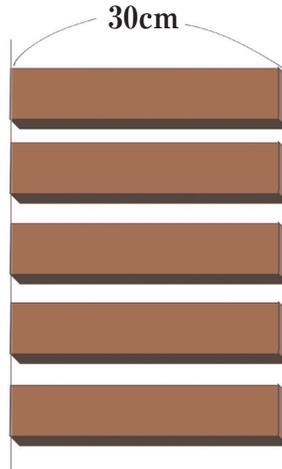
手をあわせます



いただきます



2



長さをあわせます

3

スーパー
〇〇
〇〇
〇〇
〇〇
¥1,500

+

本屋
〇〇〇
¥550

+

コンビニ
〇〇
¥110

=2,160円

あわせて

1

「いただきます」「ごちそうさまでした」と言うとき、あなたは どう しますか。自分の顔の前や胸の前で両手をつけて、挨拶をしますね。右手と左手の手の平から指の先までぴったりつけます。手を重ねることを「手をあわせます」と言います。手をあわせて「いただきます」と言います。神社に行ったとき、お願いします。そのときも手をあわせて、神様をお願いします。

子どものとき、家族や友だちと手の大きさを比べると、「手と手をあわせました」ね。

2

それから、全部同じ長さや大きさにするときも、「あわせます」を使います。例えば、

工場の仕事で、「このパーツは、30cmにあわせます」という作業の場合、箱の中の物の長さを全部30cmに切ります。全部同じ長さに切ります。「この大きさにあわせて、作ってください」という作業のときは、全部同じ大きさに作ります。

「あわせます」は、みんな同じ長さや大きさにしなければなりません。

また、みんなでいっしょに歌を歌ったりするときも「あわせます」を使うことができます。「では、みなさん声をあわせて歌ってください」と言われたら、みんなで同じ歌をいっしょに歌います。みんなと同じ歌を歌ったら、楽しいです。

3

休みの日に買い物をたくさんしました。スーパーでいろいろ買ったたら、1,500円でした。次に、本屋で雑誌を買いました。550円でした。帰りに、コンビニでおにぎりを買いました。110円でした。スーパーと本屋とコンビニで、合計2,160円払いました。合計と言うとき、「あわせます」を使うことができます。「あわせて2,160円払いました」と言うことができます。

工場に全部で何人いますか。工場に1階と2階があります。1階に30人います。2階に20人います。「1階と2階をあわせて50人います」と言うことができます。全部で50人いますと同じ意味です。